

令和5年度釧路市立北中学校「学校評価『校長の学校経営に関するアンケート』」

【結果分析】

4：している 3：どちらかといえばしている 2：あまりしていない 1：していない

	評価項目	4	3	2	1
1	校長は、私が教師力（学習指導、生徒指導、学級経営、分掌運営・参画等）を上げるための実行可能なフィードバックをくれる。	95.5%	4.5%	0.0%	0.0%
2	校長は、私を信頼して仕事を任せてくれる。	86.4%	13.6%	0.0%	0.0%
3	校長は、私を一人の人間として見て、思いやりをもって接してくれる。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4	校長は、優先事項である内容（重点教育目標や学校経営理念の実現、学校課題の解決）にチームを集中させる。	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%
5	校長は、教育局や教育委員会等から得た情報を定期的に知らせてくれる。	95.5%	4.5%	0.0%	0.0%
6	校長は、1学期中に私のキャリアに関わる有意義な話し合いをしてくれた。	77.3%	22.7%	0.0%	0.0%
7	校長は、本校の目標を明確に伝えてくれる。	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%
8	校長は、私を監督できるだけの専門知識（例えば、授業づくり、学級づくり、生徒指導等）をもっている。	95.5%	4.5%	0.0%	0.0%
9	校長は、学校経営全般について、最後は責任を取る覚悟がある。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10	私は、校長を他校の教職員に勤める。	95.5%	4.5%	0.0%	0.0%

【改善の方向性】

- 「学校経営の理念」や「目指す生徒の姿（重点教育目標）」についての共有に課題がありました。教職員が当事者意識をもって「目指す生徒の姿（重点教育目標）」の実現を図る戦略を構想するとともに、戦略の具体化を図る体制を整備していきます。
- 学校課題の解決について、具体の課題はもとより、当該の課題に対する改善策についての共有が全体にできなかったことに課題がありました。学校課題について全体が把握できたり、チームによる課題解決の結果（進捗状況を含む）を周知したりする仕組みをつくっていきます。
- 教職員一人一人の今後のキャリアについての認識に課題がありました。新しい研修制度における「対話に基づく受講奨励」等を活用するなどして、全ての教職員の今後のキャリア形成について対話を重ね、教師として目指す資質・能力の獲得に向け協働していきます。